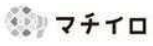


市議会だより



●美里小学校児童によるヒラメの稚魚放流
(五里合漁港)


マチイロ
 おが市議会だよりを
 無料アプリ「マチイロ」
 で配信しています。

◆6月定例会審議日程◆

7月1日	7月25日	7月24日	7月21日	7月20日	7月19日	7月18日	6月14日
議会運営委員会 本会議(表決)	予算特別委員会	常任委員会・分科会	予算特別委員会	本会議(議案質疑)	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(議案上程)

記事内容

4月臨時会・6月定例会から	……	P 2～P 3
議会報告会	……………	P 3
一般質問	……………	P 4～P 7
予算特別委員会・議案質疑	……………	P 8
常任委員会	……………	P 9
編集後記・陳情等	……………	P 10

4月臨時会
6月定例会

有料化実施計画

素案に活発な議論 安くする努力を！」

家庭系ご 市が示す 「1円でも

4月臨時会は、4月26日に招集され、市税条例等の一部改正案及び平成30年度一般会計補正予算の専決処分を承認したほか、平成31年度一般会計補正予算案を可決しました。6月定例会は、6月14日に招集され、7月1日までの18日間の会期で開かれました。今定例会では10月1日から消費税及び地方消費税の税率が引き上げられることに伴う関係条例の改正案や一般会計及び国民健康保険特別会計補正予算案など20議案が市長から提案され、全ての議案を可決しました。また、最終日には議案2件を可決しました。

※男鹿市議会会議録は男鹿市ホームページでご覧いただけます。

4月臨時会

●平成31年度一般会計補正予算について

本補正予算は、東北観光復興対策交付金を活用した秋田中央横軸F1T（外国人個人旅行者）受入モデル地域整備事業費、インバウンド促進事業費、スポーツツーリズム推進事業費などを措置し、歳入歳出それぞれ3千910万円を追加し、補正後の予算総額を148億3千910万円とするもので採決の結果、全会一致で可決されました。

6月定例会

●家庭系ごみ有料化について

家庭系ごみの排出抑制及び公平な費用負担の実現のため、

●単独運行バス条例の一部改正について

男鹿市地域公共交通網形成計画に基き、市民生活への貢献や、各地域の活性化を結ぶ交通網の形成を基本理念とし、路線バスの「定額運賃制」及び「共通乗車券」の実証実験を行うもので、採決の結果

●男鹿駅周辺整備事業について

複合観光施設オガレのオープンやJR男鹿駅の移設開業により、その周辺に新たな賑わいの創出が期待できることから、現在は活用されていないJR用地等を活用し、

永年勤続表彰

第95回全国市議会議長会定期総会において、次の2名の議員が永年勤続者として表彰されました。



古田 孝 議員
(議員20年以上)



中田 敏彦 議員
(議員20年以上)

可決した主な議案

4月臨時会

- 専決処分・条例
- 市税条例等の一部改正
- 専決処分・補正予算
- 平成30年度一般会計予算(第8号)

〔補正予算〕

●一般会計予算(第1号)

6月定例会

〔条例〕

- 単独運行バス条例の一部改正
- 主な内容 市内運行路線バスの定額運賃及び共通乗車券の実証実験を行うものです。
- 森林環境譲与税基金条例の制定

〔主な内容〕森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第34条第1項各号に掲げる施策に要する経費に充てるため、男鹿市森林環境譲与税基金を設け、その増徴と併せて、

〔補正予算〕

●一般会計予算(第2号)

〔主な内容〕男鹿駅周辺整備事業費、県営漁港事業費負担金、温浴ランドにおが温水ポイラー更新工事費のほか、プレミアム付商品券発行事業費、わか杉アット育ちと学びステーション事業費、農業次世代人材投資事業費補助金、森林

交通結節点としてのニーズに合った十分な機能確保するとともに、「男鹿観光の玄関口」としてふさわしい空間を目指す事業です。昨年、市民の意見を反映し策定した男鹿駅周辺土地利用基本計画を基に、本年度一般会計補正予算(第2号)に基本設計業務や実施設計業務等3千70万円を措置したものです。議会で、JR用地取得に係る協議状況や、JRが所有する構造物の

支障移転などについて議論が交わされ、採決の結果、全会一致で可決されました。

引下げに活用すべき)、また「長期的視点に立ち、現行税率を維持できるよう運営すべき」など様々な議論がありました。税率の引下げは昨年度に実施しており被保険者の負担軽減を図っていますが、将来的には収入不足が生じ、税率の引上げが必要となる見込みであることから、今年度は現行税率を維持し、今後の財政状況の推移を見極めるもの

議事報告会開催



五里合地区議会報告会
「出生率の低下について、市ではどのような取組を行っているのか」との質疑がありました。

男鹿市議会では、男鹿市議会基本条例に基づき、平成24年から毎年1回、議会報告会を開催しています。今年度も3班に分かれ、市内9地区で開催しました。開催にあたっては、より多くの方に参加頂けるよう、開催日時等について協議を重ね、広報した結果、市政に関心を持つ多くの方からご参加いただきました。

づく質疑や地域の諸課題など、議員と参加者が市勢発展に向け、活発な議論を行いました。質疑等から出された御意見・御要望は、市当局に適宜要望して参ります。来年度の開催につきましても、より多くの方に参加頂けるよう、努めてまいります。御協力ありがとうございました。

- 家庭系ごみ有料化実施計画素案の内容及び有料化実施により懸念される不法投棄の防止策について
- 防災ラジオの全戸配布に関する市の方針について
- 水産資源活用や水産就業支援等の進捗状況について
- 参加者からの要望
- 小中学校へのエアコン設置等、学習環境の改善をしていただきたい。
- 市の財政状況について、類似自治体との比較等、市民に分かりやすく周知していただきたい。
- オガレの海産物の品揃えが少なく感じるが、漁業者の所得向上に繋がる対策を講じていただきたい。



安田 健次郎 議員

農業対策について

人口減少や過疎化の要因は農林漁業の衰退が大きいと思う。特に農家人口は物凄いスピードで減っており、農業対策を強化する必要がある。その一つに耕作放棄地対策があるがどう対応するのか。荒廃農地解消対策としては農地中間管理機構と県、農業会議等が協議し、農地中間管理事業と遊休農地対策制度を関連付けて進めることとしています。

水稲以外の梨やメロン、葉たばこや野菜、花きの伸び悩みも含め生産量が相当落ち込んでいることから、実態把握や原因の検証について伺います。

天候不順もありますが、栽培農家の減少や高齢化による作付面積の減少が主な要因です。

今後取り組むネギや菊の園芸メガ団地、JA秋田なまほげ地域での販売促進について目標や具体策を示していただきたい。

ネギや菊の園芸メガ団地はそれぞれ販売額1億円を目標に、

また、JAと一体となり小規模農家、女性及び高齢農業者が取り組める軽量野菜の推進に努めます。異常気象で水不足の被害があるが支援策について伺います。作付ができなかった水田面積は13畝となっており農業共済組合では代替作物の作付け誘導等の支援を行うと伺っています。

行政改革について

第三次行政改革で各種の使用料などの引上げ、補助金のカットが実施され市民からの批判が寄せられています。今後も第四次行政改革を推進するようですが人員削減がでていないのか。また、単に行革だけでは依然として財政の悪化は改善されていないと思うがそれでも今までどおり実施する考えなのか伺います。

今年度はこれまでの取組状況を把握し、必要に応じて新たな取組項目を追加し、継続的な改善を実施していきます。

イージス・アショアについて

私達の税金が3千億円も費やすこの計画は絶対認めるべきではないと思うが市長の考えを伺います。

秋田市及び県の方向性を見極め対応すべきと考えます。



進藤 優子 議員

マイナンバーカードを活用した地域活性化策について

マイナンバーカードを活用した地域活性化策は、自治体の取り組み方次第でいろいろな使い方が可能になると考えますが本市の取組状況を伺います。

地域活性化策を展開することの向上が図られ、自治体の中で消費拡大にもつながることが期待されるのですが、マイナンバーカードの交付率は低い水準で推移していることから、今後の取組については国等の動向を注視しながら検討していきま。

若者の政策形成への参画について

若者が活躍できるまちを創るための若者施策として、若者会議や若者議会等を立ち上げて、若者が政策形成に参画できるように取組を推進すべきと考えますが見解を伺います。

動き出す商店街プロジェクトや男鹿駅周辺まちづくり意見



米谷 勝 議員

男鹿駅周辺整備事業について

旧男鹿駅裏側にJR用地を確保する考えについて伺います。支障構築物の移転及び大型車両の進入経路を確保すること、本市、JRとも好都合であることから交換の協議を進めているものです。

株式会社シービジョンズが男鹿駅周辺「みらいづくり」構想の基本計画を立案しました。今後、これを基にした基本設計業務、実施設計業務の内容とスケジュールの見通しについて伺います。

基本設計業務は広場基本設計、現況地形測量及び道路・交差点概略設計、実施設計業務は広場実施設計、路線測量及び道路・交差点詳細設計を予定しています。スケジュールについては今定例会で予算可決後、基本設計業務を発注し、工期は11月末日までとし、その後、12月上旬に実施設計業務を発注し、工期は来年3月末までと考えています。

八郎湖の水質改善について

アオコ発生状況における現状認識について伺います。

平成24年に夏季の高温と少雨の影響により、八郎湖の広範囲にわたりアオコが大量発生し、各地で悪臭等の被害がありました。それが以降は大量発生には至っておらず、悪臭等の被害についても県や市では確認されていません。八郎湖水質対策連絡協議会へのアオコ対策の提案について考えを伺います。

協議会においては、これまでも八郎湖に関し様々な実情報告や対策に関する意見交換がなされてきたことから、県や周辺市町村と連携を図り水質改善に向けた取組を推進するため、議会や市民からの意見や要望を踏まえ、様々な懸念が軽減できるよう積極的な対応を行っていきます。

滝川改修事業の現状について

河川改修後、中山間農地の区画整理や排水路整備について考えを伺います。

区画整理事業については、国等の補助事業採択に向け、地域の合意形成がなされた場合は意向調査など事業推進への支援を用排水路等の部分的な整備は原材料支給で支援を行っていきます。

ともに、チエアエカササイズ教室等4教室の他、マシントレーニング教室などの開催を検討していると指定管理者から伺っています。温泉利用型健康増進施設については、健康づくりを図る上で有効と考えられますが、市が主導での事業展開は考えていません。介護予防事業については、普及啓発事業として各種教室・講座を開催しており、昨年は148回、述べ2千646人の参加がありました。



伊藤 宗就 議員

健康増進施策と介護予防事業について

今般、社会保障費は増加の一途を辿り、このままでは減少の見込みは無いと指摘されている。そのため、今後健康増進に係る施策の充実、益々需要が高まると思われることから以下質問します。(1)健康増進に係る本市の事業取組について(2)市内体育施設有料化に伴うサービス向上計画について(3)温泉利用型健康増進施設認定の可能性について(4)介護予防事業の実績について

運動習慣の定着化では、男鹿市チャレンジデーを始め、男鹿市体育協会・総合型地域スポーツクラブでの各種教室等の事業を実施、生活習慣病予防では市内各地域での特定健診、各種がん検診等の実施により早期発見・治療に取り組みしており、昨年度からは健康ポイント事業を実施しています。また、サービス向上策については利用者ニーズの把握に努めると

「その他の質問」

電力小売り完全自由化における市の考え方について

道道の草刈りについて



佐々木克広 議員

防災・減災について

防風・防砂用松林におけるクロマツ151号等、耐枯れ松(マツノサイエンチュウ抵抗性)品種植樹による森林再生について伺います。

種苗の本格的な供給体制が整った際に海岸林への活用を検討してまいります。

市管理の準用水系の中には、安田川など、屈曲水路等の要流れ改善箇所が少なくありません。豪雨時氾濫抑制について伺います。

地区から要望のある「土砂が堆積し流下能力が低下している河川」については、現地調査の上、緊急度及び優先度を判断し計画的に対応してまいります。

産業振興について

自然エネルギーの活用状況と方向性について伺います。

昨年度の経済効果等については、太陽光発電設備等の償却資産に係る固定資産税約2千980万円、市有地貸付料約330万

円、風力発電に係る固定資産税約8千260万円が納付されています。雇用面では太陽光発電及び風力発電関連の事業所として市内に9事業所、合わせて20名程の雇用創出を把握しています。今後とも職音等による市民への影響等に十分配慮しながら、関連産業育成及び雇用機会創出に繋げてまいります。

観光振興・DMOについて

市外観光誘客政策としての市内観光所整備や県の公式観光情報サイトやテレビ等メディアの県内観光情報への市内観光情報提供について伺います。

県の掲載については、本市の桜の知名度向上に更に努めるとともに、桜の名所等の掲載について県へ働きかけてまいります。

その他の質問

栽培漁業の6次産業化における稚苗放流サイズと放流後の食害対策を含めた育成・収穫確率改善について

東北6県プラスJR全国観光キャンペーンについて

寒風山資源活用状況と男鹿周辺まちづくりのDMO連携について
観光・教育資源としての男鹿半島・大潟沼パークと北日本の縄文等古代遺跡文化との連携・活用について



古仲 清尚 議員

権利擁護事業について

認知症高齢者や一人暮らし高齢者が増加している現状から、今後、自治体の責務として、高齢者の生命と尊厳、権利利益の擁護に資することが求められている中、本市における権利擁護事業支援体制について見解を伺います。

成年後見制度については、市民への周知不足が課題と考えられており、今年度策定予定の男鹿市地域福祉計画に成年後見制度の利用促進を位置付け、周知と連携を図り、制度利用の支援に努めます。高齢者虐待については、地域と連携し、適切な支援に結びつける相談体制の充実が努めるとともに、地域ぐるみの見守りの大切さについて周知に努めてまいります。

災害時の乳幼児栄養支援について

乳児用液体ミルクの推進や使い捨て哺乳瓶の採用、アレルギー対応など、災害時の栄養支援環境整備について見解を伺います。

液体ミルクは、乳幼児の栄養確保を図る上で、安全性・利便性も高いものと認識しており、利用者のニーズを把握しつつ、粉末ミルク、アレルギー対応粉ミルクとの多重備蓄や流通備蓄も含め検討しています。また、使い捨て哺乳瓶等については、流通備蓄も含めめ検討してまいります。避難所の開設運営については、国や他自治体の避難所運営の事例等を参考に、未使用教室を利用した授乳室の個室化など、利用計画の作成について協議を進めてまいります。

児童・生徒の携行品重量化への対応について

授業で用いる教科書や教材、学用品や体育用品等の過重による携行品重量化は、身体の健全な発達に影響が生じかねないなど、懸念が大きくなっているが、怪我・事故等の抑止・抑制への対応について市の見解を伺います。

・生徒の携行品に係る配慮について適切な対応を行うよう依頼してまいります。今後各学校が実態に応じた的確な対応、児童・生徒が無理なく安全に登下校出来るよう支援してまいります。

その他の質問

大学との連携「城字連携」専門人材育成・愛入体制」について



佐藤 巳次郎 議員

国民健康保険税の大幅引下げを！

平成30年度末の国民健康保険の財政調整基金残高について、平成30年度決算見込みによる基金残高について伺います。

平成30年度末現在の基金残高は約2億3千700万円です。これに平成30年度決算剰余金1億1千700万円を積立金とし、積立後の基金残高は約3億5千400万円と見込んでいます。

残高がある中、何ら軽減措置をとらない手法だと被保険者からは、多額な基金をそのままにしておくのかと我々議会が怒られます。税率の引下げが可能であり、見直しをすべきと思うが見解を伺います。

将来における被保険者数の減少や高齢化による所得の減少により、税収の減少や医療給付費の増加が見込まれ、数年を経た後、基金不足が生じる可能性があり、基金による財源補てんが必要になると見込んでいます。市では税率

をアップすることなく、安定した事業運営に努めるため基金を保有しているものです。

全県一高いごみ袋料金に、ごみ処理費用は市負担で！
―家庭系ごみ有料化実施計画案―

家庭系ごみ有料化の必要性と引上げ案の内容について伺います。

有料化の目的はごみの減量化を図ること、公平な費用負担の向上を図ることです。

ごみ袋の価格については各小売店によってまちまちで調査の結果では、大10枚入り税込価格で189円から175円となっています。それに新たにごみ処理手数料として1円当たり1円、45リットルの袋は45円が加算されることになり、ごみ袋の価格と処理手数料の価格を明確化する算算方式を提案しているものです。

市民にごみ処理手数料を負担させるのか。市の責任でやるべきで、これでは税金の二重取りではないのか。

処理費用については、税を財源として処理してきましたが、ごみの排出量に応じて処理費用の一部を負担する仕組みとし、受益者負担の公平性を確保するもので



佐藤 誠 議員

男鹿洋上風力について

広報3月号で縦覧案内がされた男鹿沖洋上風力の「計画段階環境配慮書」によると、南は潟上から鶴ノ崎沖5kmまで、北は能代から男鹿温泉沖5kmまでの海域が示されています。新聞では世界最大級の風車とあったが、その内容を伺います。

市の南側の事業は最大でハブm、羽根の回転直径が2200m(北側1800m)で84基(北側158基)と伺っています。固定資産税や建設、保守等の経済効果が見込まれるが、景観、漁業、船の航行、テレビ電波障害等が懸念されるため、今後、環境配慮書に対して市民からも意見を求めるとともに事業者からも十分な説明が必要と認識してまいります。

家庭系ごみの有料化について

ごみ袋45リットル入り450円、円の手数料を加えて650円弱になる計画が出されています。

家庭系ごみ一人一日500gの目標と、目標達成時のごみ袋の価格はどうか。また、生ごみ処理の対策を含め、もっと分かりやすい分別指針を提示すべきではないのか。

令和7年度までの目標です。今までは減量化を呼びかけても、自分事のように考える動機付けがなされなかったと考えます。減量化の新たな取組として公平な費用負担とごみに対する意識の向上のために有料化を進めるものです。生ごみ処理や雑誌等の分別の周知活動はまだ十分ではないと認識しています。

オガレと駅周辺について

オガレを中心とする整備に今までに要した経費と収支はどうか。今後、市の介入の考えはどうか。今年前からの字垣頭海の釣り堀を提唱してきたが市の見解を伺います。

平成28年度から昨年度までの経費は整備事業で8億9千460万円であり、イベントなどで674万円、土地利用本計画で299万円です。初年度収支はマイナスでしたが、3年で黒字にする計画です。今後はイベント等のソフト面でサポートしていきます。海の釣り堀は県と共に可能性を検討します。

予算特別委員会

今定例会において、全議員で構成する予算特別委員会に付託された一般会計及び国民健康保険特別会計の令和元年度補正予算案について審査し、いずれも原案のとおり、可決すべきものと決しました。

委員会が質疑のあった中から主なものを取り上げ、その要旨を掲載しました。

講案質疑

男鹿市単独運行バス条例の一部改正について

80円ということを踏まえて設定したものです。

ガイドラインとしては、継続調査中の乗車率及び収支について検討を行うこととしており、この提案を行うに当たって及び地域公共交通協議会が検証を行いたいと考えています。

市の負担としては、共通乗車券作製等の経費は見込まれるものの、現在の平均運賃が約180円であることから新たな負担は多く発生しないと考えています。

男鹿市森林環境譲与税金条例の制定について

質疑 本基金条例制定の目的、基金の具体的な活用方針について伺います。

答 民有地における伐採、造林等の整備が困難となった森林を、市町村が公的管理で対応するため、今年度から交付される森林環境譲与税を本基金に積み立て、森林資源の適切な管理を推進するものです。今年度の積立額は919万円であり、必要経費を取り崩しながら、荒廃が進んでいる市内の森林整備や林業従事者の人材育成、担い手の確保など有効に活用してまいります。

質疑 現在の指定ごみ袋の価格設定や年間流通量、使用量について、また、有料化後の指定ごみ袋の価格設定の基準について伺います。

答 現在の指定ごみ袋は、市が示した規格について、市が製造を認定した業者が商品として販売しているものであり、価格設定に必要な製造、販売、流通に係るコストの情報及び年間流通量、使用量については把握していません。また、有料化後の指定ごみ袋の価格については、価格設定の基準となる形状、厚さなどの規格は市が指定することになっていきますので、できるだけ使い勝手がよくコストの低いものを選定したいと考えています。

質疑 家庭系こみ有料化実施計画案で示す1.5倍当たり1円の処理手数料について、軽減や見直しを行う考えについて伺います。

答 有料化については、新たに経済的負担を求めることとなりますので、今後予定している住民説明会では、市民の皆様から広く意見を聴取し、内容を十分検討した上で実施計画に反映してまいります。

家庭系こみ有料化について

質疑 国保財政運営の今後の見通しについて伺います。

答 歳出面では保険給付費が納付傾向にあることから、県に追加する事業費納付金が昨年から約3千800万円増加しています。

歳入面では被保険者数の減少などにより昨年から約7千万円減少する見込みであるこ

委員会・分科会の動き

各常任委員会・分科会は、付託議案等と所管の予算案を審査しました。

質疑のあった主な事項は、次のとおりです。

総務

質疑 単独運行バスの実証実験期間の設定で、定額運賃制は翌年3月31日まで、共通乗車券は11月30日までとなっている理由について伺います。

答 期間の設定については、定額運賃制は実証実験を行っていく中で大きな問題がなければ、来年度以降も引き続き実施していくと考えています。共通乗車券は、正規の運賃よりも安い料金設定となっているため11月30日といったん終了し、市民の方々の反応と財政への影響をみながら、改めて設定していく考えです。

質疑 男鹿駅周辺整備事業について、今後の進め方、用地取得の時期、総事業費の見込みについて伺います。

答 基本的には男鹿駅周辺土地利用基本計画に沿って進めていきますが、議会、関係

者、周辺の方々には途中経過を随時報告しながら、さらに意見をもらって進めていきたい。土地取得については、来年度当初予算に計上して来年度4月早々に契約を、また、総事業費の見込みについては、土地代も含めて2億5千万円を上限と考えています。

質疑 国民健康保険税について、県が事業主体となったことによる平成29年度と30年度の比較と今後の状況について伺います。

答 平成29年度は、一世帯当たりの税額は14万9千600円、30年度は13万8千700円となっており、広域化したことにより、市の国保税に求められる必要額が抑えられました。ただし、医療費負担は今後、増えていく見込みであり、被保険者数及び世帯数が減る状況下では、税に求められる負担額が増えていく見込みとなっています。

質疑 平成30年度介護保険特別会計決算見込みにおける財政調整基金残高及び活用状況について伺います。

答 平成30年度介護保険特別会計決算見込みにおける財政調整基金残高及び活用状況

教育厚生

質疑 家庭系こみ有料化実施計画案では、有料化実施によるこみ処理手数料の収入は約2千800万円と見込んで

について伺います。

答 平成30年度未現在の基金残高は1億5千232万2千円、決算剰余金1億4千04万3千円のうち7千100万円を積み立てし、積立後の基金残高は2億2千332万2千円となります。

現在、第7期介護保険事業計画の2年目であり、今期の保険料算定にあたり基金から1億1千万円を取り崩し、保険料上昇抑制対策として活用する予定です。本市の保険料は県内でも高い状況にあるため、来年度は第8期計画策定にあたり保険給付費の動向を踏まえ、適正に算定します。

質疑 介護保険料の引下げ対策について伺います。

答 平成30年度の給付状況では、介護予防給付費や日常生活支援総合事業費など軽度の方の給付が伸びているため、引き続き、重度化になる前の軽度な段階で相談できる体制の強化や、自主的な介護予防活動の支援を行っている予定です。

質疑 家庭系こみ有料化実施計画案では、有料化実施によるこみ処理手数料の収入は約2千800万円と見込んで

いるが使途については具体的に示されていない。こみ集積所の整備に活用するなど、市民に還元される具体的な使途を明確化することにより、市民の理解が進むのではないかと

質疑 こみ処理手数料の具体的な使途については、資源こみ回収団体の育成・支援やごみ集積所設置補助金の拡充などについて検討しているところであり、この後予定している住民説明会で皆様にご示すことができるよう準備を進めています。

質疑 男鹿市森林環境譲与税基金について伺います。

答 今年度より、国から譲与を受ける森林環境譲与税を森林整備に関する施策や森林整備を担うべき人材の育成及び確保、森林の有する公益的機能に関する普及啓発、木材の利用の促進などの施策に要する経費に充てるため「男鹿市森林環境譲与税基金」を設置するものです。森林所有者への森林管理意向調査の結果を踏まえ、整備促進に有効活用していきたいと考えています。

質疑 男鹿日本海花火会場内のマリナーズ「球技場」を

全てマヌ席二万円とした理由について伺います。

質疑 協賛券については、昨会場への入場が可能ですが、会場同様、一人千円としており、実行委員会の前年度繰越金が減少してきており、大口協賛に頼っているが、今後の継続の支障を来すことが危惧されることから、今回、マリナーズ「球技場内」については、一台分付き二万円としました。今後、大口の企業協賛頼りではなく、実行委員会として自主運営できる仕組み作りを研究してまいります。

質疑 上水道の配水量と給水量及び漏水対応について伺います。

答 配水量とは水道施設から各家庭等に送られた水量であり、給水量とは水道料金の基となる水量です。水道料金につながる有効水量と、漏水などによる無効水量があり、最近では地上で確認できない漏水が増え、有収率低下の要因となつております。水道水の安定供給に資するため、老朽管路の計画的な更新を行い、併せて耐震化率と有収率の向上を図ってまいります。

まちの未来が見える（6月定例会の傍聴者は16人）

議会傍聴においでください

陳情

- 辺野古新基地建設の即時中止と普天間基地の沖縄県外・国外移転の国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき厚生に解決するべきとする意見書採択を求める陳情
 - 地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情
 - 辺野古新基地建設の中止と普天間基地の沖縄県外・国外移転の国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書採択を求める陳情
 - 教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書採択の陳情
- 《主な内容》学校現場における課題が複雑化する中で、子どもたちの豊かな学びを実現するためには、教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが不可欠であり、教職員定数改善を推進すること。また教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担割合を2分の1に復元することを求める。

意見書

- 米軍普天間飛行場の辺野古移設を推進する意見書に関する陳情
 - 日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情
 - 地方財政の充実・強化を求める意見書
 - 教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元を求める意見書
- 2件が可決されましたので、市議会の意見として、政府関係機関へ送付しました。

令和元年9月定例会日程（予定）

月	日	曜日	会議名	主な内容
9	3	火	本会議	決算特別委員長報告（公営企業会計） 質疑、討論、表決 市長提出議案上程（提案理由の説明）
	5	木		一般質問
	6	金		一般質問
	9	月		一般質問
	10	火	議案質疑、常任委員会付託、予算特別委員会付託 決算特別委員会設置・付託	
	11	水	予算特別委員会	付託議案の審査・分科会設置
	12	木	決算特別委員会	付託議案の審査・質疑・討論・表決
	13	金	（一般・各特別会計）	
	17	火	常任委員会・分科会	付託議案等の審査・現地調査 （総務委員会・教育厚生委員会・産業建設委員会）
	25	水	予算特別委員会	各分科会委員長報告、質疑、討論、表決
議会運営委員会			最終日の運営について	
本会議		各委員長報告 （総務・教育厚生・産業建設・予算特別・決算特別） 質疑、討論、表決		

▼「令和」になって初めての6月定例会は、18日間の会期で開かれ、市長から提案された20議案と議会案2件をすべて全会一致で可決しました。男鹿駅周辺整備事業、農業次世代人材育成、子育て支援環境など、市当局が全力で取り組まれ、目標達成されることを期待します。

▼議会報告会は3班に分かれ市内9地区で開催しました。多くの市民の皆様からご参加いただき、議会・市政への意見交換の場となりました。開かれた報告会をこれからも目指しますので、市勢発展のために活発な意見交換をよろしくお願ひします。

▼男鹿市の財政状況は年々厳しく、財政健全化は必須です。また人口減少社会対策等に向けて、行政・議会の努力と共に市民が参画できる環境づくりが必要で、「明るく未来の可能性が見える男鹿市」に向けて、新たな時代に新たな視点で課題解決に取り組む、頑張りたいと考えています。

（佐々木克広）